

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(2)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物はいずれも窒素と酸素を含む化合物である。【 】
- (2) 第1類の危険物は自然発火性物質である。【 】
- (3) 第1類の危険物は加熱、衝撃または摩擦などを避けて取り扱う。【 】
- (4) 第1類の危険物の消火には二酸化炭素消火剤が適している。【 】
- (5) 塩素酸カリウムは無色の結晶または白色の粉末である。【 】
- (6) 塩素酸ナトリウムは潮解性がある。【 】
- (7) 塩素酸バリウムは水に溶けない。【 】
- (8) 過塩素酸カリウムは赤リンとともにマッチの原料になる。【 】
- (9) 過酸化ナトリウムは水で湿潤とした状態にして貯蔵する。【 】
- (10) 過酸化マグネシウムは希酸に溶けて過酸化水素を生じる。【 】
- (11) 臭素酸カリウムは冷水にわずかに溶け、温水によく溶ける。【 】
- (12) 硝酸アンモニウムは水によく溶ける。【 】
- (13) 過マンガン酸カリウムは約100℃で分解して酸素を放出する。【 】
- (14) 重クロム酸アンモニウムはエタノールに溶ける。【 】
- (15) 二酸化鉛は加熱すると分解し、酸素を発生する。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(2)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物はいずれも窒素と酸素を含む化合物である。【×】  
第1類の危険物は窒素を含むものと含まないものがある。
- (2) 第1類の危険物は自然発火性物質である。【×】  
自然発火性物質は第3類危険物である。
- (3) 第1類の危険物は加熱、衝撃または摩擦などを避けて取り扱う。【○】  
衝撃、摩擦を与えない。火気、加熱は避ける。
- (4) 第1類の危険物の消火には二酸化炭素消火剤が適している。【×】  
二酸化炭素消火剤は適していない。
- (5) 塩素酸カリウムは無色の結晶または白色の粉末である。【○】  
無色の結晶または白色の粉末である。
- (6) 塩素酸ナトリウムは潮解性がある。【○】  
潮解性がある。
- (7) 塩素酸バリウムは水に溶けない。【×】  
水に溶ける。
- (8) 過塩素酸カリウムは赤リンとともにマッチの原料になる。【○】  
マッチの原料である。
- (9) 過酸化ナトリウムは水で湿潤とした状態にして貯蔵する。【×】  
水と反応する。
- (10) 過酸化マグネシウムは希酸に溶けて過酸化水素を生じる。【○】  
希酸に溶けて過酸化水素を生じる。
- (11) 臭素酸カリウムは冷水にわずかに溶け、温水によく溶ける。【○】  
冷水にわずかに溶け、温水によく溶ける。
- (12) 硝酸アンモニウムは水によく溶ける。【○】  
水によく溶ける。
- (13) 過マンガン酸カリウムは約100℃で分解して酸素を放出する。【×】  
約200℃で分解して酸素を放出する。
- (14) 重クロム酸アンモニウムはエタノールに溶ける。【○】  
エタノールによく溶ける。
- (15) 二酸化鉛は加熱すると分解し、酸素を発生する。【○】  
加熱すると分解して、酸素を発生する。